

2021年12月10日

FW11.24



# Trimble GFX-750 PIQ設定

## 「施用制御」

# PIQ設定画面



をタップする

# 農作業機のセットアップ

## 新しい農作業機の自動選択



- ・ ONの場合  
新規作成した農作業機データを自動的に選択

※初期設定は「ON」  
基本的に「ON」の状態で使用

- ・ OFFの場合  
手動で新規作成農作業機データを選択

# 受信可能域マッピング 資材に対して流量テーマを調整



- ONの場合  
実行画面のレイヤーを目標レートにしたとき、  
資材の最大レートに合わせて範囲設定が  
自動変更される

※初期設定は「ON」  
基本的に「ON」の状態で使用

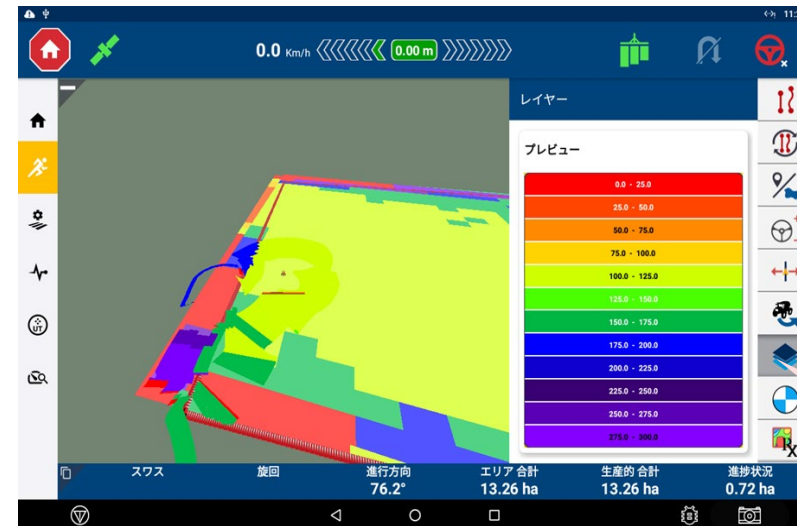
- OFFの場合  
資材の最大レートを変更しても直近で  
使用したレイヤー範囲で表示される

# 受信可能域マッピング

## プレスクリプションに対して施用流量テーマを調整



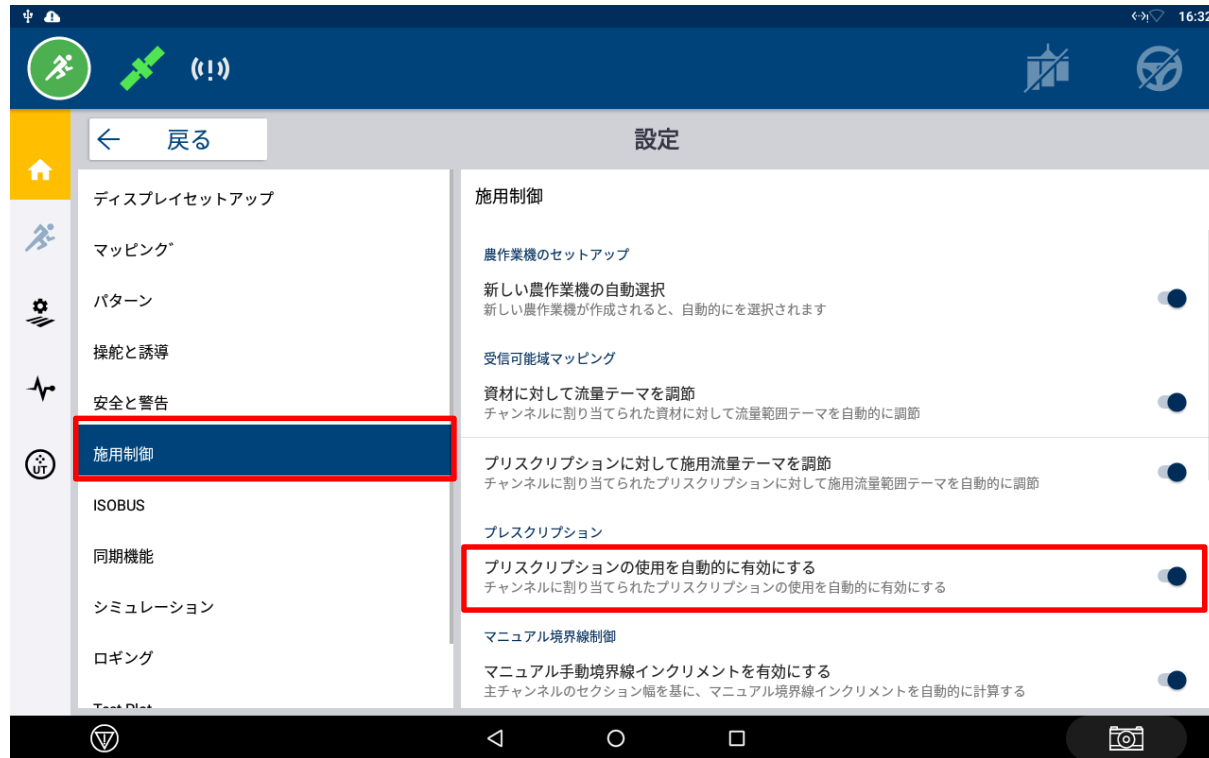
- ONの場合  
プレスクリプションマップ設定値に対して自動で  
目標レートが自動でスケールリングされる  
**※初期設定は「ON」**  
**基本的に「ON」の状態で使用**
- OFFの場合  
自動調整機能が無効となる



スケール  
(上下限) が  
自動設定される

# プレスクリプション

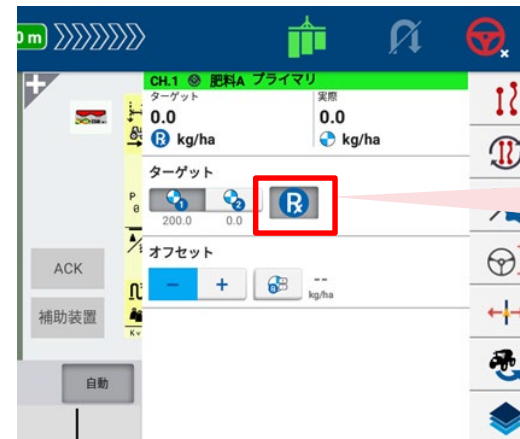
## プレスクリプションの使用を自動的に有効にする



- ONの場合  
プレスクリプションの使用を自動的に有効にする。  
有効にすると、システムはターゲットレートを自動的に設定する

※初期設定は「ON」  
基本的に「ON」の状態で使用

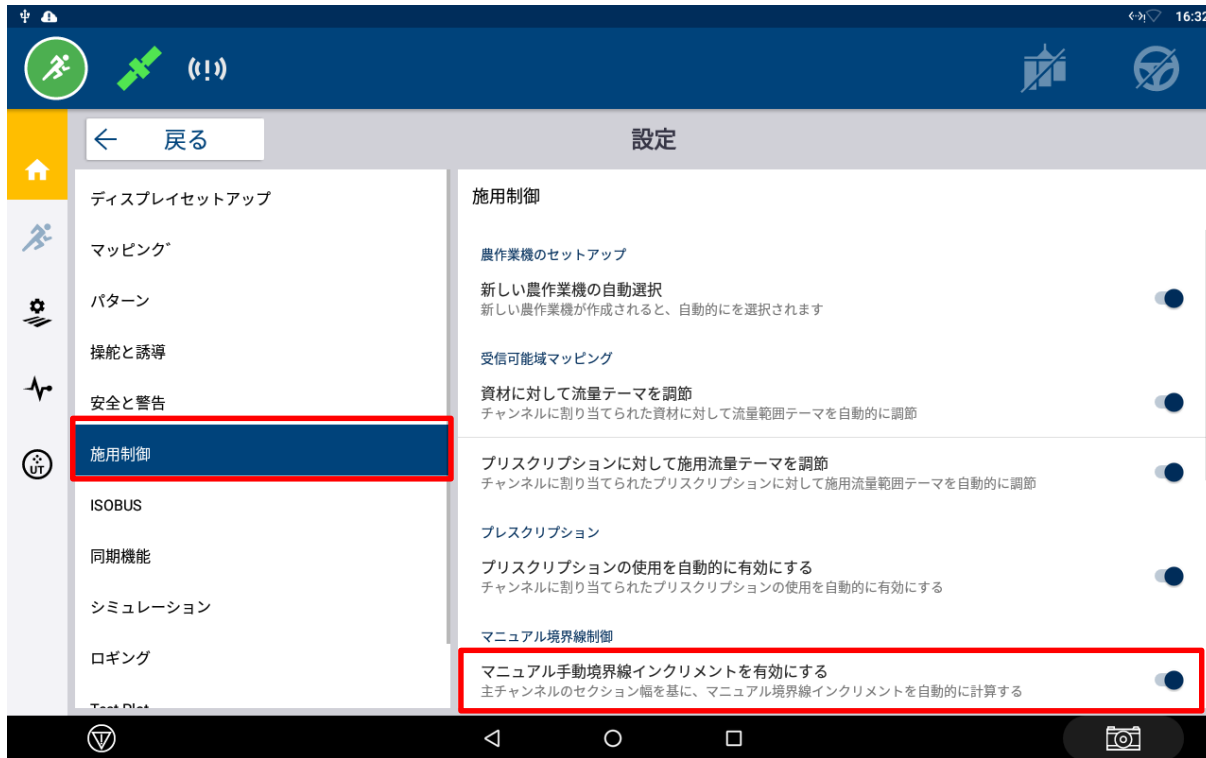
- OFFの場合  
手動で「RX」レートアイコンで設定を行う必要があり、この場合「RX」をタップして有効化が必要



OFFの場合  
タップ必要

# マニュアル境界線制御

## マニュアル手動境界線インクリメントを有効にする



### 機能概要

セクションコントロール時（自動orマニュアル両方）にセクションコントロール操作画面下部の左右矢印でセクションのON/OFFを手動で切り替えができ、その際のON/OFFセクション幅を設定できる

境界線近辺等での任意的な散布や各セクション幅が均一でない場合に利用すると有効

※初期設定は「ON」  
基本的に「ON」の状態で使用

# マニュアル境界線制御

## マニュアル手動境界線インクリメントを有効にする

- ONの場合  
作業機で設定してあるセクション幅（数）  
で左右ボタンでON/OFFができる



タップ

タップした分で増加減

- OFFの場合  
任意の幅を入力し、そのセクション幅で  
ON/OFFの操作が可能になる



OFF時に仮に10mと入力した場合、  
1タップで10m増減する



# セクション制御

## オンオフ遅延に負の値を許可する



- ONの場合  
「ON」にすると遅延設定でマイナスの数値が設定可能となる

- OFFの場合  
プラスの数値のみ設定可能

※初期設定は「OFF」  
基本的に「OFF」の状態で使用

# 資材レート

## 資材レートを記録する



- ONの場合  
同じタスクを呼び出したときに材料の目標レートを増減していたらその値が保存される

※初期設定は「ON」  
基本的に「ON」の状態で使用

- OFFの場合  
保存機能が無効となる